

「製図法を学ぼう」指導計画（5時間計画）

過程	時間	学 習 活 動	支援及び留意点	評 価 項 目
課題意識を持つ	1	<p>「情報を伝える絵（図）を描こう」</p> <p>自分なりの工夫を凝らして情報を伝える絵（それを図と定義する）を描く。</p>	<p>苦手意識が学習活動に反映しないよう、多様な描き方を認め、逆にその多様さを認識させる中から製図のルールの必要性を実感させるようにする。</p> <p>「OneUp シート」を活用して、学習意欲を高め、個に応じた学習を進める（以下同）。</p>	<p>【B規準】身の回りに活用されている図に気づくことができる。</p> <p>【A規準】身の回りに活用されている図に気づきそれらの特徴を指摘できる。</p> <p>（関心・意欲・態度 ；OneUpシート）</p> <p>【B規準】立体を自分なりの工夫を加えて図で描き表すことができる。</p> <p>【A規準】効果的な工夫を加えて立体を図で描き表すことができる。（工夫・創造；作品）</p>
技能を身につける	1	<p>「製図法を学ぼう 1・キャビネット図」</p> <p>キャビネット図法を理解し簡単な立体を図法に従って描く。</p>	<p>「奥行きを 1/2 の割合で表す」ことがつまづきやすい点なので、実物大ほか倍率を変えた数例の作図を示範し、1/2 の割合の出し方を具体的に示すようにする。</p> <p>外形線をできるだけ太く描かせる。（以下同）</p>	<p>【B規準】図法にしたがって、立体を図面に描き表すことができる。</p> <p>【A規準】倍率や画面の配置などに配慮しながら、図法にしたがって、立体を図面に描き表すことができる。</p> <p>（技能；観察・作品）</p>
	1	<p>「製図法を学ぼう 2・等角図」</p> <p>等角図法を理解し簡単な立体を図法に従って描く。</p>	<p>キャビネット図との違いをよく理解させる。</p> <p>製図法だけでなく、外形線の平行関係などにも着目させる。</p>	
	1	<p>「製図法を学ぼう 3・第三角法」</p> <p>第三角法を理解し簡単な立体を図法に従って描く。</p>	<p>平面図・正面図・側面図の配置に注意させる。</p> <p>斜面を真上から見た場合の描かれ方については、例示し理解をさせる。</p>	
学習を振り返る	1	<p>「製図に用いる線の種類と寸法記入の方法を学ぼう」</p> <p>提示された立体を、既習の3つの製図法のどれかひとつを用いて製図する（復習）。</p> <p>各部の寸法を記入する。</p> <p>OneUp シートの記録を振り返って、学習活動を自己評価する。</p>	<p>出来るだけ苦手と感じた図法を復習する機会にさせ、机間支援を通じてつまづきへの個別対応を図る。</p> <p>線の使い分けについては、形状だけでなくはっきりとした太さの違いを表現させる。</p> <p>縦および斜面の寸法記入については、それぞれ寸法線の左および上に記入することを伝える。</p> <p>学習前と、学習後の「図」に対する見方や知識の変化、および個人内評価のグラフの変化に着目させ、学習を振り返らせる。</p>	<p>【B規準】図法にしたがって、立体を図面に描き表すことができる。</p> <p>【A規準】倍率や画面の配置などに配慮しながら、図法にしたがって、立体を図面に描き表すことができる。</p> <p>（技能；観察・作品）</p> <p>【B規準】OneUp シートに自己の変容を肯定的に記載することができる。</p> <p>【A規準】OneUp シートに自己の変容を肯定的に記載ことができ、今後の学習に意欲を示した記述ができる。</p> <p>（関心・意欲・態度 ；OneUpシート）</p>